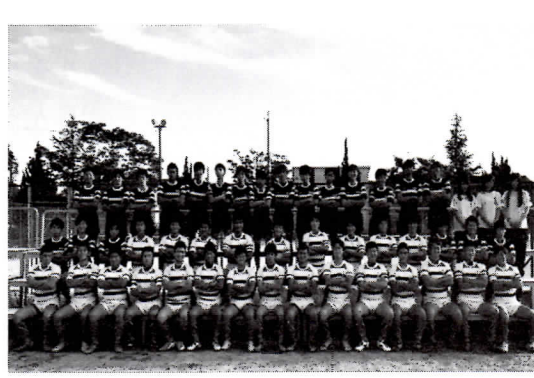




編集 生徒会執行部

各務原市蘇原新生町2-63
岐阜県立各務原高等学校印刷 浅野印刷株式会社
羽島市江吉良町江西1-10

誠実を心に刻む

校長
杉原 整

ご卒業おめでとうございます

サッカー部の活躍に象徴される皆さんの三年間は、本校の歴史に新しい一ページを加えてくれました。各務原らしく「明るくさわやかに最後まで走り切る」サッカーの背景には、もうひとつ大切に行っているものがありました。朝練前の校舎内外の清掃、毎週月曜日、地域の子供たちとスポーツを通して感謝の気持ちや互いを尊敬する気持ちを養う。中央ライフデザインセンタークラブサークル発表会で後片付けを担当。これらすべて三年生が率先して取り組んできました。この誠実さは、ラグビー部、野球部、剣道部でも大切にされてきました。今では運動系の部活動だけではなく、吹奏楽部や囲碁部等の文化系美活動、さらには生徒会活動へと大きな広がりを見せています。

受験に向かう皆さんの姿勢にもこの精神は貫かれていました。センター試験や二次試験に向かう皆さんの姿には、誠実に取り組むゆえの強さを感じ取ることができました。各務原校生の原点がここにあることを教えてくれました。

これから、一・二年生がこの伝統を引き継いでいきます。これからも「各務原らしさ」を大切にしてください。皆さんの活躍を期待しています。

夢を叶えるために

教頭
武藤 芳紀

古い話ではありますが、一九七二年に行われたミュンヘンオリンピックのバレーボールで日本男子は金メダルを獲得しました。昨今の日本男子バレーボールはメダルには遠い状況のようですが、当時は六四年の東京オリンピックで銅メダル、六八年のメキシコオリンピックで銀メダルと実績を積み重ね、頂点を極めました。監督であった松平康隆氏がミュンヘンを目指し取り組んでいたときの言葉を紹介します。

どれだけ努力しても必ず世界一になれるとは限らない。でも、「世界一にふさわしいチーム」になることはできる。そのために精一杯努力していくことが必要だ。最後に世界一になれるかどうかは神様が決めることだ。

三年生の皆さんが自分の進路実現のため、努力を重ね、果立っていきます。ひよつとすると、第一志望とは異なる進路に進む人があるかもしれません。行きたかったところに行くと「行くにふさわしい人」になることはこれからの努力で、叶うことかもしれません。逆に志望通りに進路が確定した人も、そこに「ふさわしくない人」となるとは、意味がありません。

常に自分の目標に向かい努力して、夢が叶うにふさわしい人物になってください。

先生から一言



三年二組

担任
松久 潤

『いくら探しても見つけれない近道』

なぜ勝負の目的は勝つことなのか。勝つことでしか学べないこと、勝ち進む中でしか得られないものがあるからだと思ふ。勝つことは成長する機会を増やす。そして勝つための準備にこそ大切なものがつまっている。そんな話をよくさせていただいた。京都・貴船神社の話を思い出した。

仕事、恋愛、勉強、夢、人生：一体いつ、希望を叶えられるのかそんなことは、誰にもわからない。何度か転んで、傷を増やしながらいかに努力と苦勞を重ねて重くて氣を失う程、氣が遠くなるような果てしない「遠回り」の道のりを自分の足で歩いてこそ見える景色。そこに辿り着くための唯一の方法「歩き続けることをやめない」

卒業おめでとう。

目標に向けて準備をすることは、スポーツも受験勉強も同じ。年末に寒空の中、一緒に校門を開けたことがあった。そのとき、彼らの後ろ姿に「顔晴れ」とエールを送った。がんばれ、というのとは簡単。語りかけたい言葉を飲み込む、そんな瞬間もあるのだ。それは日常の中で成長してきた彼女らへの敬意から。顔晴れ！千の準備を！



副担任
富田 千晶

入学式から三年。日ごとに成長し、大人びていく皆さんを見ている内に、もうこの言葉を贈る日が来てしまいました。早いものですね。

卒業、本当におめでとう。

何気なく交わした挨拶や冗談、真剣な眼差しで語ってくれた悩みや思い、楽しそうな、悲しそうな、覚悟を決めたような、皆さんの見せてくれた姿全てが今、鮮やかに思い出されます。

新しい一歩を踏み出すことに、不安を抱いている人もいるかもしれませんが、でも大丈夫。苦しみながらも楽しんで三年間の経験は、しなやかな心と体となって、もう皆さんの元にあります。皆さんが思うよりもずっと、皆さんは逞しい。皆さんが思うよりもずっと、私たちは皆さんを誇りに思っています。

どうか自分を大切に。自分を誇り、また関わった人々を誇りに思えるような人になってください。一段と成長した皆さんと再会できる日が、今から楽しみです。

三年二組



担任
大洞麻有子

卒業おめでとう

各務原高校に赴任してきたときに一年生の担任としてあなたたちに出会い、三年間持ち上がる事ができ

ました。素直に成長して進路を決めていく皆さんとともに、私も経験を積んで成長できました。かけがえない思い出です。

私は市民ランナーです。練習中に登下校してくる生徒に出会えることが励みでした。声かけてくれた人あがけて、一度決めたことは時間をかけてじっくりやるのが私。だからこそマラソンに出会うことができたのだと思います。かれこれ7年間走り続けました。調子が良かったり、痛みで失速したり、給水失敗で本領が出せなかったりいろいろな経験の中で教訓を得たことがあります。人生は焦らずゆっくり、自分の意志に沿って決定したペースで一步一步進むもの、ということ。焦ってペースを乱すと怪我や事故という形で自分の身に返ってきます。

これらの人生は出会いと決定です。その人の生き方に沿った出会いがあり、展開があります。いい出会いができるように努力を続けてください。



副担任
永津 正臣

三年生のみなさん、卒業おめでとうございます。三年間の学年を受けていくみなさんの姿を見てきました。今日で高校生活も最後になりました。みなさんは、卒業するという感激と次のステップに進む不安もあるのではないのでしょうか。私は、自分の教えた生徒を送り出すこの日が先生をやってきてよかったと思える最高の瞬間です。

三年二組は団結力があり、一つのことに對して一生懸命頑張る姿が印象的でした。文化祭や球技大会をはじめいろいろな行事にも積極的で、

自分の個性を最大限に発揮していつも期待以上の成果をあげてくれました。

特にこの一年間は、最高学年として進路決定に悩み、苦労しましたが、本当の人生はまだこれから始まります。みなさんには未来があり、自分で選んだ道へと歩んでいきます。様々な困難にぶち当たっても決して諦めない前向きな気持ちで何事にも全力投球で、真の栄光を勝ちとってほしいと思います。これからのみなさんの活躍する姿、数年後にさらに成長した姿で再会できることを楽しみにしています。

三年三組



担任
吉田 英生

卒業おめでとう。

「開拓者精神」

新たなことが始まるのは、古きものが土台にあつてからこそ。古きものがすばらしく大きければそれだけ、新たなものは困難を強いられる。

しかし、その困難に立ち向かうものがこそ新たな境地に花を咲かせることができると。

そしていつしか花は散り、新たな花が咲き始める。

このメッセージは君たちにも、自分自身にも言いたいこと。

一人ひとりに感謝。大切な時間を一緒に過ごさせてくれて、ありがとう。また会おう。



副担任
高井 めぐみ

ご卒業おめでとうございます。

三年生では、直接授業で関われる人は少なかったですが、一年生からの皆さんの姿を思い出すと、本当に成長したなあとうれしく思っています。これから新しい道へ進んでいく中で、何かひとつでもいいので、夢中になれることを見つけてください。そして自分がやりたいことに向かって努力し続けることを忘れないでください。たまに一時間やるよりも、毎日十分でもやり続けることが自分の力となります。「継続は力なり」です。最後に頼れるのは日ごろ培った自分自身の力です。

天才といわれる人は、ほんのわずかな人たちです。どんな一流のアスリートやアーティストたちも、表に見えない影の部分では、人一倍たゆまない練習を続けています。若い時代はいろんなことを吸収しやすい時期です。スポーツをしたり、旅に出たり、芸術に触れたり、たくさんの感動をして心を豊かにしてください。高校時代に得た友だちや、新しく出会った様々な人とのつながりを大切にして、これからの人生を充実させていってくださることを願っています。



三年四組



担任
土岐 頼信

ご卒業おめでとうございます。

人は、生まれてからこの世を去るまでにいくつもの大きな「節目」を経験します。結婚や出産、親となり、親と別れ…。高校卒業もそんな大きな「節目」の一つだと言えるのではないのでしょうか。この「卒業」という日を境に誰もが一人の大人として社会から迎えられ、同時に一人の大人としての振るまいと責任を求められるようにもなります。それは限らない「自由」と果てしない「責任」の世界です。その自由と責任を主体的に受け止めて、自分の人生を謳歌してほしいと思います。時に自分が自分らしくあることは難しく、もがき苦しむことがあるかもしれませんが、しかし、どんな時でも大切なのは、誠実であること、謙虚であること、堅実であること、感謝を忘れないことだと思います。この四つを忘れなければ大丈夫。実はこの世の中で意外と大切で、なおかつ意外と難しいのが「ちゃんとしてる」こと。ちゃんとした大人になって、ちゃんと自分を生きていってください。

自らを証し、自らを察すべし。また会える日を楽しみにしています。チャオ！



副担任
奈木 紀彦

「あなたの人生を変える言葉」

みなさんは「言葉」(ことば)という言葉を聞いた事がありますか。言葉に宿るとされる霊のことです。言葉には、すごいパワーがあって暗い人生を明るく変えてくれます。具体的には、いつも否定的な言葉を使っていたのをやめて、前向きな言葉を使うように決心し、実行すると人生が変わります。

これは、宇宙の法則「自分が発したものが、自分に返ってくる。」にあてはまります。いつも自分の置かれた環境に感謝し「ありがとう」という言葉を発すると、ありがたうと思える現象が返ってくるからです。逆にいつも人の欠点ばかり見えて、人の悪口ばかり挙げている人は、嫌な出来事ばかりに遭遇します。それは、その人が「引き寄せ」ているのです。8つの言葉を紹介するので、積極的に使って人生を変えてください。

「うれしい」「楽しい」「幸せ」「有り難う」「感謝しています」「愛しています」「大好き」「ついでる」

三年五組



担任

関谷十糸子

「いとおしい」という言葉が私にとつて本当にしっくりと来る君たち、卒業おめでとう。

三年間という月日を共に過ごした君たちなのに、私はまだまだ知らないことばかりなのだろうね。クラスではクラスの顔で過ごし、部活動では部活動の顔で過ごし、家では家の顔で過ごし・・・君たちはいくつ顔を持っていたのだろうか？

これから社会に出て行き、もっと

もつといういろいろな自分の顔を持つてください。いろいろなコミュニケーションを持つて、たくさんの人との出会いの中で、様々な自分を演じることが成りたい自分になっていけるから。自分で自己を確立していけばいい。誰かのためでなく、自分に誇れる自分でいてください。そして素直に答えてあげられる人になってくれたら、とてもうれしいです。

でも大丈夫、きっと誰かは見ているから。とても濃厚で、色々と考えることの多い三年間でした。ありがとう。欲を言わせてもらえれば、もっともつと、君たちと数学を解いていたかった...



副担任

牧田 篤弥

卒業おめでとう、やいませ。

いつも君たちにはたくさん元気をもらいました。

最後に、私がいつも心がけていることを皆さんに伝えようと思います。

「まずやってみる」ということ。

この先、わからないこと、やりたいこと、嫌なこと、迷うこと・・・いろんなことがたくさんあります。

まずはやってみよう。

失敗や後悔をしてもいいんです。

やらなけりや失敗しないかもしれない。やらなけりや後悔しないかもしれない。

でもやらなけりやそれが何につながるかもわからない。

挑戦し続ける人になってください。

一年間楽しかったです。ありがとう。

三年六組



担任

藤垣美奈子

まずは、卒業おめでとうございま

す。各務原高校に来て八年、自分の手で次の場所に卒業生を送り出すのも、皆さんで六回目となりました。六回目!?と思うものの、これが不思議とマンネリ化しないのは、皆さんの個性が豊かである証ではないでしょうか。これからも、自分に自信を持ち、自分らしく生きていくように色々模索してやって下さい。

さて、高校三年間を振り返って、何か一つでも、「学んだ」「身につけた」と思える知恵はありますか。それはちゃんとcunningではなくwisdomでしょうか。前者のcunningはいわゆるカニニグの語源だとも言われているそうですが「悪知恵」を意味し、後者のwisdomは本当の「知恵」を意味する語だそうです。

私がこの2つの単語の意味の違いを聞いたのは、高校生の時の英語の授業です。高校生から成人するまでぐらいいのこの時期こそ、一生のうちで一番色々なことを吸収できる時期だと思えます。その時期を無駄にするのは勿体ないので、何かをつかもうと思ひながら、前向きに授業や色々なことに挑戦してみよう。

これから先、皆さんが様々な経験を通して、多くのwisdomを手に入れ、幸せに暮らせるように願っています。



副担任

石原 弘也

卒業おめでとう！

「超一流の勝負力」という本の中からこれからのみんなに自分を成長させる「か・き・く・け・こ」を紹介したいと思います。

「か」・・・感動

人の心を動かし感動させる行い

「き」・・・興味

成長するために様々な事に興味をもつ

「く」・・・工夫

言われたことだけでなく自分なりの工夫を加える

「け」・・・健康

何をするにも健康な体が基本

「こ」・・・恋心

仲間を大切にすること

頑張ってください！

三年七組



担任

松原 博文

卒業おめでとうございます。

三年前の初々しい姿を思い出し、そしてたくましくなった今の姿を見ると、この三年間のみなさんの積み重ねがとてもよくわかります。勉強で、部活動や生徒会、校外のボランティアなどで、または、どれもバランスよく、人それぞれ力を入れたところは違いますが、継続したこの経験は、壁に当たったとき必ず力になるはずです。夢を実現するために目の前のことを誠実に、

まわりに協力をもとめながらやっていくことが大切です。

人生は選択の繰り返しだと思います。大きな選択、小さな選択、いろいろありますが、向かう方向がだんだんと決まっていきました。高校受験、大学受験や就職試験、部活動やサークル入部、自分の意思を大切に行動に責任をもって進んでいけると確信します。

101の365乗と0.99の365乗、何の話でしょう。はじめ、0.02の差が365日後には約100倍になるという話です。毎日の力は大きいのです。

みなさんが生き生きと活躍されることを信じ、祈っています。つらいときは、たわいもない話ができる友達をたよることも大切です。

みなさんとの出会い、ありがとう。



担任

立川 智昭

卒業おめでとうございます。

将来の君たちのために、次の言葉を贈りたいと思います。

「努力する人は希望を語り、怠ける人は不満を語る。」

これは、戦後の文壇をリードした一人、井上靖の言葉です。この言葉の真意として、「希望を語っていれば努力する気持ちになり、不満ばかり言っていると怠けるようになってしまふ」と考えることもできます。君たちには、後者のような人間ではなく、前者のような人間になってほしいと思います。

これからの人生、順調にものごとが進むとは限りませんが、常に希望を持ち続けているだけで、気持ちは前向きになり、努力し続けようとする人間になると思います。

頑張ってください！

三年八組



担任

片桐

豊

Positivity

三年前の四月、入学してきた皆さんと一緒に、私は自分の母校であるここ各務原高等学校に赴任してきました。そして、自分が三十四年前に英語科の新入生として入学した、同じ四階の一番西の教室に、今度は担任として立つという、めったにできない経験をさせてもらいました。三年間、この学年以外の授業を持つこともなく、二年生からは学年主任も務め、いつも皆さんと共に過ごしていた気がします。パワフルで、けれど一年生の頃はまだ子供の部分も残っていた皆さんが、学校生活を通して、進路実現や部活動の大会に素晴らしい取り組みを見せ、成果をあげていく、その成長する姿の近くで毎日過ごすことができ、本当に「幸せな」三年間でした。

特に英語科の皆さんとは、三年間、担任として、多くの時間を過ごしました。妙なクラス目標を口走ったり、毎回、模擬試験に「英語科ノルマ」を作ったり、無茶なことばかり言う担任でしたが、皆さんが何でも明るく取り組んで、模擬試験ノルマも半分以上クリアしてくれて、いつも誇らしく感じていました。卒業おめでとう。その前向きな明るさを、次のステージでも。



担任

久代美和子

ちよつとそこまでお見送り

三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。本当に時が経つのは速いもので、あっという間の三年間でした。皆さんとは、一年生の時から三年間一緒に過ごすことができました。様々な思い出ができました。皆さんの卒業にあたって、二つだけお願いをしたいと思います。一つは、「健康第一」で過ごしてください。とにかく健康は大事です。

二つ目は、「疑い」を持つてください。私が大学一年生の時、一般教養でどうしても取らなくてはいけなかった哲学の講義、教授が一年間どんな話をされたのか、さっぱり忘れましたが、最初の講義で教授が黒板に、「哲学とは疑うことである。」と書いたことを鮮明に覚えています。教授曰く、「疑う」とは、自分が当たり前だと信じている事や、自分の周りの人が正しいと言っていることが、本当に正しいことなのかを、様々な角度から考えなおしてみることです。偉い人が言うから、有名な人が言うからという理由で「疑い」もないのは「思考停止」です。十八歳選挙権が始まる年、しっかりと「哲学」についてってください。それでは、また会う日まで、お元気で！



クラス紹介

三年一組

一人ひとりの個性が強く、常に笑顔が絶えず、賑やかな一組。文化祭では、どうしたらステージを観てくれる方々を楽しませられるかを第一に考えて何度も練習を重ねました。そのおかげで本番では、最高の「メイちゃんの執事」を披露することが出来ました。個性の強い子が多く、先生方には迷惑をかけたと思いますが、三十七名全員で卒業でき、うれしく思います。たくさんの思い出を胸にそれぞれの進路先で頑張ります。一年間、ありがとうございました。

三年二組

私たち三年二組は、男女ともにとても仲が良く、思いやりがあり元気いっぱいいるクラスです。私たちの一番の思い出は、文化祭や球技大会などでクラスみんなで取り組みめたことです。文化祭では、夏休み中や放課後にみんなで協力していい劇をつくることができました。球技大会は練習をたくさん行い、バレーでは男女ともにいい結果を残すことができました。みんなと過ごした一年は、とても充実して楽しいものでした。

三年三組

個性派ぞろいの三組は、いつでもバラバラでした。文化祭や球技大会では「最後だから思い出に残ることしたい!」という思いと元気の良さ、気合だけで成功させてきました。総合大賞、優勝することはできませんでした。爪跡を残すことはできませんでした。他学年・先生方との交流、放課後遅くまで残って行った文化祭練習、雪合戦、高校生活最後の一年、このクラスで楽しく充実した毎日を過ごすことができました。ありがとうございました。

することができました。ありがとうございました。

三年四組

私たち三年四組は、二十六人という少人数でしたが、どんな行事にも一致団結して取り組んできました。特に文化祭では夏休み前から練習に励み、慣れないことばかりで戸惑いしましたが、そのかいあってステージ部門金賞を獲得することができました。これは私たちの誇りです。また、国立公立大学進学を目指すクラスとして、休み時間や補習をうまく利用して勉強も怠りませんでした。高校生活最後の一年をとて充実したものでしました。

三年五組

私たち三年五組は、各務原高校史上最強の理系といっても過言ではないです。文化祭では、賞を狙い、夜遅くまでみんなで準備をして、総合大賞を獲得することができました。球技大会では、仲間と血のにじむ努力をして実際に、血は出ていませ。その結果、男子バレー優勝・女子バレー準優勝という輝かしい成績を残しました。しかし、授業においては、注意されることが多く担任の関谷先生に迷惑をかけたことが、三十二人全員先生には感謝しがいありません。十糸子先生マジリスベクト。

三年六組

私たち三年六組は、何事も皆で頑張ることのできるクラスです。文化祭では「白雪姫」をステージで演じました。全てを皆で考え、何度も練習しました。ステージ部門での賞はありませんでしたが、垂れ幕部門で金賞を受賞しました。球技大会でも、男女関係なく皆で練習し、お互いにアドバイスをし、本番で勝利できるように努力しました。いざ、とても良い思い出になりました。

三年七組理数科

三年七組は一年生からクラス替えがなく、全員の仲がとてよいのが特徴です。球技大会で男子バレーは準優勝を果たしました。ここまで絆が深まったのは、お互いの個性を理解し、尊重していたからだと思えます。先生の怒号が一番多かったのはこのクラスでしょう。同時に、一番多くの笑いが起きたのもこのクラスでした。嫌なことたくさんありましたが、総合的には最高のクラスです。理数科として多くの経験もできました。すばらしい高校生活をありがとうございました。

三年八組英語科

英語科はみんな個性豊かで、とても仲が良いクラスです。いろんなイベントも全力で楽しんでました。文化祭や球技大会だけでなく、模擬試験では、「英語は学年ベストテンに7人以上」という目標もありました。2年生の目標である日、片桐先生が突然、クラス目標を、「人が髪を切ったら必ずほめる」にした時、翌日から誠実に守りました。そんなクラスになったのは、1年生のころから面倒を見てくれた片桐先生、久代先生がいたからです。感謝しています。

編集後記

厳しい冬の寒さも和らぎ、春の訪れを感じられ、皆さんの旅立ちを祝福しているかのようです。ご卒業おめでとうございます。本校での3年間はいかがでしたか。各務原高校新聞卒業特集号を読んで、先生方や級友と過ごした、懐かしい日々を思い起こしてください。機会があれば、学校に来ていただき、近況等をお聞かせください。皆様のご健勝と、新天地での活躍を心よりお祈りしています。

編集人一同